

## 豊かな自然の保全推進プロジェクト

平成30年度における関連する社会の出来事	低炭素社会構築プロジェクトを参照
----------------------	------------------

■自然が豊かなまちをつくります！

環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」	平成30年度に実施したこと	環境課ヒアリング・評価
1-1 ●「保存樹木」、「保存樹林」、「ふるさとの森」を市民とともに緑の維持管理に努めます。	(環境課) 彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森(ひこべえの森)道路境界沿いにおいて、台風や強風等の影響により枝木の落下が懸念されることから樹木剪定を行った。 また、小久喜地内の樹木3本を新たに保存樹木に指定した。	ひこべえの森は市民団体(白岡緑と土の会)の協力を得て維持管理を行っているほか、同所において、12月に実施された「冬の集い」では市内中学校、高校をはじめとする学生の外に一般市民の参加によって79名の参加を得た。 また、新規で3本の樹木を保存樹木に指定した。
1-2 ●大規模志向の強い地域農業の担い手に対し、農地の集積を図り、優良農地の保全、低利用農地及び遊休農地の有効利用を促進します。	(農政課) 農地の有効利用のため、農地流動化奨励事業(新規事業)を実施し、農地中間管理機構等による農地の利用権設定が促進され、新規56筆、53,336㎡、再設定18筆、16,947㎡の利用権設定が図られた。	農地流動化奨励事業は平成27年度から市が取り組んだ事業である。 市内の農業従事者へ事業取組を周知し、活用されている実績が表れている。
1-3 ●関係機関と連携しながら、在来の生態系に影響を及ぼす外来種の移入・生息防止対策に努めます。	(環境課) 家屋・農業被害防止のため、市民からの要望により捕獲器(箱わな)を設置。アライグマを45匹捕獲した。	引き続き取り組む。 その他、延べ9社に有害鳥獣捕獲の許可をした。
1-4 ●河川の水質浄化を図るため、公共下水道の整備を推進するとともに、合併処理浄化槽の設置を促進します。	(下水道課) ・雨水枝線整備 157.95m ・合併処理浄化槽への補助金 11基	計画通りに進行中である。 雑排水の適正な処理について、広報紙及びホームページを活用して普及啓発を図っており、合併処理浄化槽については、昨年度は予算11基中11基を補助している。
1-5 ●公園や学校などの公共用地については、生態系に配慮して自然環境の創造に努めます。	(街づくり課) 豊かな自然環境を維持するため、必要に応じて樹木の剪定及び危険な枯れ木の伐採等を実施した。	引き続き取り組む。 樹木の成長を考慮しつつ、危険箇所を見極め実施する。
	(教育総務課) 周辺との環境調和や景観美化を図るため、樹木剪定等を実施し、自然環境の創造に努めた。	各学校において引き続き取り組む。

環境基本計画で定めた「市民・事業者」に求められる行動	平成30年度における状況	環境課ヒアリング・評価
<p>1-6</p> <p>【市民に求められる行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺地域の人々と話し合い、緑の保全や遊休地の有効活用を図りましょう。</li> <li>●減少傾向にある在来種の保全に努め、また外来種についての情報や知識を共有し、むやみに動物を放さないようにしましょう。</li> <li>●日常生活から出る排水に気を配り、市のきれいな水環境を守る意識を持ちましょう。</li> <li>●環境保全団体などが主催する自然保護活動に参加しましょう。</li> </ul> <p>【事業者に求められる行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境関係法令を遵守し、有害な物質は適切な方法で処理しましょう。</li> <li>●事業所内での緑化を進め、周辺との環境調和や景観美化を図りましょう。</li> <li>●建設事業等に当たっては、生き物や生態系に配慮した工法を用いましょう。</li> <li>●外来生物などの有害鳥獣についての情報収集に努め、駆除活動に協力しましょう。</li> </ul>	<p>彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森において、白岡緑と土の会と白岡市、市教育委員会、「町ぐるみん白岡」の共催による、ひこべへの森冬の集いが行われた。</p> <p>元荒川・星川をきれいにする会による、水辺環境の美化が行われた。</p>	<p>「白岡緑と土の会」「元荒川・星川をきれいにする会」など、市民団体による活動が市内の森や河川の環境整備に大きく寄与している。</p> <p>自然環境の保全を自然環境に親しむ機会と捉え、これら市民団体の活動を広く周知することで、協力者等の増加を図る。</p>

■自然に対する思いやりを育みます！

環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」	平成30年度に実施したこと	環境課ヒアリング・評価
1-7 ●ボランティア団体などと連携しながら、自然環境に関する学習会の開催など、学校教育や社会教育での学習機会の拡大を図ります。	(教育指導課) 市内各学校において、学校応援団等と連携し、緑の学校ファームなど体験活動を実施した。また、宿泊学習や自然体験学習などで、ボランティアから説明を聞くなどし、環境保全への理解を深めた。	各学校において引き続き取り組む。 また、小学生等が環境に親しむ機会作りを行い、市内に存在する自然を認知できるよう情報提供を行っていく。
	(学び支援課) 「田んぼの生き物観察会」を1回、「自然ふれあい体験教室」を1回、「自然観察会」を4回、「楽しいバードウォッチング」を2回開催した。	学び支援課の事業は一度きりではなく、季節ごとに経過を楽しみ学習できる工夫が凝らされている。自然とのふれあいを通じて、親子の絆づくりにも寄与している。 田んぼの生き物観察会：1回、参加者数50名。 自然観察会：年4回、延べ87名。 楽しいバードウォッチング：年2回、延べ39名
	(環境課) 7月に市民(子どもから大人)を対象に第1回環境学習会を開催し、東京都水の科学館、日本科学未来館を見学した。水の不思議とその大切さを理解し、日本科学未来館では過去、現在、未来のテクノロジーの変遷と温暖化について理解を深めた。 また、11月には市内在住の小学生と保護者を対象にした第2回環境学習会「親子エコスクール」を開催。ペットボトルや空き缶などのリサイクルに関する学習、体験ゲーム等を通じて、自然環境を守るため、自分たちでできることについて、学ぶ機会を設けた。	環境問題への関心度を向上させる企画であり、幅広い分野の「環境」にまつわる施設を検討して事業を開催している。 平成30年度は例年7月に行われている第1回環境学習会に加え、11月にも市内在住の小学生と保護者を対象にした第2回環境学習会「親子エコスクール」を開催し、合計42名(第1回26名、第2回16名)の参加があり、幅広い世代の市民に環境について考えるきっかけ作りを提供することができた。
1-8 ●自然や自然観察のイベントなどについて、広報紙やホームページなどで積極的に情報発信します。	(環境課) 広報紙等で環境学習会や自然観察会等について周知を行った。また、緑のカーテンの普及啓発を広報紙を通じて行った。	緑のカーテンは市民に定着しつつあり、企業への緑のカーテンの普及を試みた。実績としては商工会を通じて5企業に緑のカーテンを配布した。
環境基本計画で定めた「市民・事業者」に求められる行動	平成30年度における状況	環境課ヒアリング・評価
1-9 【市民に求められる行動】 ●農業体験などに参加し、農業に対する理解や関心を深めましょう。 ●市内に生息する生き物に関心をもち、保全する意識を持ちましょう。 【事業者求められる行動】 ●河川等水環境保全のための清掃やボランティア活動への支援や協力に努めましょう。 ●市内に生息する生き物に関心を寄せ、環境保全への意識向上のための啓発活動に努めましょう。	市の開催事業である「田んぼの生き物観察会」、「自然観察会」、「楽しいバードウォッチング」、「環境学習会」への市民の参加があった。 市内に生息する生き物調査を実施した。	学び支援課における事業は、市民との連携により市民が参加する事業展開がされている。今後も市民が関心を持つ事業の展開が望まれる。 市内に生息する生き物調査を開始したが、報告件数が少なかつたため、市民への周知方法を検討する必要がある。

## プロジェクトを推進するための数値目標

担当課	項目	基準	H26	H27	H28	H29	H30	R元年(H31)	R2(H32)	目標
		H22								R2(H32)
環境課	保存樹林の指定面積	20,265㎡	21,041㎡	20,481㎡	20,481㎡	20,518㎡	20,388㎡	—	—	現状維持
環境課	保存樹木の指定本数	8本	7本	7本	7本	7本	10本	—	—	現状維持
環境課	ビオトープの数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	—	現状維持
環境課	市内に生息する動植物などの調査	未実施 (H21)	一部実施 (ひこべえの森)	一部実施 (ひこべえの森)	未実施	未実施	市内全域実施	—	—	市内全域実施
下水道課	生活排水処理率	75.5% (H20末)	77.1%	78.00%	78.92%	79.30%	79.90%	—	—	90.5%
街づくり課	公園緑地面積	26.29ha	26.53ha	27.09ha	27.09ha	39.94ha	38.90ha	—	—	28.67ha

## 平成30年度豊かな自然の保全推進プロジェクト(総括)

◇豊かな自然の保全推進プロジェクト  
彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森（ひこべえの森）における管理を「白岡緑と土の会（市民団体）」によって実施していただいております。市は必要備品等の購入を行っている。

また、白岡緑と土の会、市、市教育委員会、「町ぐるみん白岡」と共催し、ひこべえの森冬の集いが開催されており、市内に存するふるさとの森を活用した事業として、目立った事業が展開されている。

学び支援課では事業を見直しては新規事業に取り組み、自然環境だけでなく文化財への興味等を引き出す魅力ある取組を行っている。